



令和7年度3月

みつづかこども園

# 1年間ありがとうございました

## 放送記念日

「JOAK、JOAK、こちらは東京放送所です」という第一声が正式に電波に乗ったのは、今から101年前、1925(大正14)年3月22日です。当日は東京芝浦放送所から出力200Wで放送されましたが、ラジオの加入者は5455世帯という限られた家庭だけでした。一般の市民は商店などの店頭集まって、ラッパ型の拡声器から流れてくる音声に耳を傾けて感激したといひます。この日を記念日としたのは、この第一声によります。その後、同年の7月に東京・芝の愛宕山に新社屋が完成し、翌年の8月6日に東京、大阪、名古屋の各放送局が合体して、NHK(日本放送協会)が設立。

これ以降は、わが国の放送事業は着実に発展・向上してきました。毎年の放送記念日には、放送事業に功労のあった方々に「放送文化賞」の贈呈式などの行事が行われます。

### 行事予定

2日(月)	交通安全指導
4日(水)	英語で遊ぼう(4・5歳児)
9日(月)	やかた音楽隊演奏会
12日(木)	発育測定・交通安全指導
13日(金)	おもいでピクニック(5歳児)
21日(土)	卒園式(5歳児)
23日(月)	保育料引落日
25日(水)	終わりの式

### 樹 村野 四郎

おまえが入学したときは まるで かわい苗木のようだった 枝もなく そして葉もなかった けれどもきょう おまえを見るとき 大きなおどろきに胸をうたれる おまえの幹は しっかりとし さしかわす知恵の枝々 風にそよぐ やわらかい感情の 茂り おお この美しい成長はだれが くれた わたしは おまえといっしょに このゆたかな恵みに 心から感謝しよう	おまえは まだまだ大きくなる やがて 花をさかせるだろう 梢は空にひろがるだろう そして 深々とした おまえの 茂みは 数しれない小鳥たちの ねぐらになるだろう おお そのとき 大きな おまえの樹のかげに どんなに美しい夢を わたしは結ぶだろう
---	--

新年度に向けての配付書類を2月25日にお配りしました。

提出書類は順次準備し、期日を守ってご提出ください。なお、今まで園で使用していたすべての持ち物(家庭から着てくる肌着や洋服、靴下なども含む)もサイズや名前を確認していただき、薄くなっている名前は書き直してください。3歳児以上は給食袋やナフキンなど間違いやすいので必ず大きく書き直してください。お子さんとともに新年度のご準備をよろしくお願ひします。

## 子どものほめ方・しかり方

子どもの「ほめ方・しかり方」は難しいものです。厳しく叱りすぎると子どもは心を閉ざし、自尊心がもてなくなります。最近「しかるよりほめよ」と言われます。「〇〇ができるようになったね。お母さんも嬉しいよ」というように、事実を認め、それに対して感じた気持ちを伝えることが大事です。子どもは認めてもらえたと受け止め、安心感をもつことができます。この安心感が「子育て」で大切な自尊感情を育てる上でとても大事なのです。

ある心理学者によると「子育ての基本は、子どもの行動を評価するのではなく、共感すること」。子どもを肯定的に見ることや共感的に関わる大切さが大切にされる意味は、肯定的に見られた子どもは失敗や評価にとらわれずにやる気をもち続けることができ、共感的に関わった子どもは自信をもって物事に取り組もうとする態度が育つことです。

「ほめ方・しかり方」の基本は、結果を評価するのではなく、やろうとした過程を認めてあげること、がんばったことをほめることです。しかる際には、やろうとした過程を否定するのではなく、「こうすればよかったね」と正しい行動を教えてあげることです。自信をもって行動できる子育てを心がけましょう。

園長 小藪 達也